

記 事

◎第1回理事会

(昭.29.6.14) 出席者: 青木会長, 菊池, 藤井両副会長, 飯田, 上野, 片平, 兼重, 後藤, 篠原, 立花, 星埜, 最上の各理事, 平井前会長, 福田前副会長, 榎前理事, 議事: 1) 5月中の行事その他報告, 2) 各理事担当部を次のとおり決定

総務部長	兼重 信雄	同次長	立花 文勝
経理部長	飯田房太郎		中路 誠三
編集部長	最上 武雄		後藤 正司
調査部長	上野 省二		篠原 清
研究連絡部長	星埜 和		片平 信貴

3) 他学協会等との連絡担当理事を決定, 4) 夏季講習会の細目決定(別項お知らせ欄参照) 5) 編集委員の改任について

[留任]

長浜 正雄	鉄道, ニュース	国鉄技師長付
三木五三郎	土質	東大生研
吉川 秀夫	水理	建設省土研
小松原 豊	材料, 施工, 建設機械	日本国土開発KK
坂本 龍雄	発電水力, ダム	電力中央研
丸安 隆和	コンクリート	東大生研
三上 澄	応力, 道路橋	都建設局道路部
鈴木 溪二	都市計画	首都建事務局
斎藤 迪孝	土質	国鉄鉄研

[新任]

久保慶三郎	応力	東大生研
林 一幹	測量	中央大工学部
大宮 克己	橋梁構造物	国鉄鉄研
今井 勇	道路	建設省道路局道路企画課
西畑 勇夫	河川	河川局計画課
森 勝平	港湾	運輸省港湾局建設課
山本 浩	鉄道	国鉄施設局保線課

編集顧問の平井敦及び幹事徳平淳(上下水道)の両君は留任。退任の委員は, 岡本舜三, 佐島秀夫, 菊池洋一, 神田九思男, 柴原孝太郎, 寺西弘治, 矢野照雄の7君である。地方委員は各支部より推薦方照会中。

なお, 抄録委員長森茂氏は退任し, 後任として左合正雄君を委嘱すること。6) 40周年記念行事委員会委員委嘱について

委員長: 菊池 明
 委員: 兼重 信雄, 小林 泰, 平嶋 政治,
 五十嵐醇三, 浅野 英, 最上 武雄,
 星埜 和, 篠原 清, 後藤 正司,
 山本 三郎, 飯田房太郎, 中路 誠三,
 上野 省二, 立花 文勝

幹事長: 片平 信貴
 幹事: 大塚 勝美, 八木田 功, 徳平 淳,
 三宅 康夫, 藤原 孝, 荒木 道雄,

田中 倫治, 今井 勇, 川勝 四郎
 7) 40周年記念事業資金委員会準備委員委嘱について
 委員長: 菊池 明

委員: 藤井松太郎, 飯田房太郎, 中路 誠三,
 中島 重雄, 種谷 実, 野瀬 正儀,
 水越 達雄, 沢 勝蔵, 榎 修仁,
 田中 五郎, 橋本 万里, 山形 賀,
 上野 省二

幹事: 片平信貴, 藤原 孝, 荒木 道雄

8) JSC 計数装置特別委員会委員長から国立計数センター設置案に対する意見照会については意見はない, 9) JSC 国際十進分類法研究連絡委員会物理小委員会委員に井口昌平君を推薦すること, 10) 造船協会から造船協会賞, 日本造船工業会賞, 日本海事協会賞の受賞候補者推薦依頼については上野理事に一任, 11) 建設省建築技術研究所藤田所長申出の風の研究会について, 12) 慶大鬼頭史城氏からの JJS 標準数規格案は編集委員会で検討のこと, 13) JSC 原子力に関する声明書を会誌に登載する, 14) 会員入退会承認。

◎各種委員会

1. 編集委員会(昭.29.6.25) 出席者: 最上, 岡本新旧委員長, 後藤副委員長, 矢野(代岩井)関西地方委員, 大宮, 久保, 斎藤, 鈴木, 林, 三上各委員, 中川書記長, 徳平幹事。協議事項: 1) 会誌及び論文集進捗状況報告, 2) 投稿論文及び新規受付論文審査委員の決定, 3) 編集部内規について, 4) 39巻8号登載論文を次のとおり予定。

友永和夫: 3 支点転車台の新設計について, 深谷俊明: 3 径間連続バリ橋の経済的設計について, 真嶋恭雄: 港湾における沿岸流及び最大波高の推定について, 木村春彦・大内正夫: 堆積粒子の転動に関する一考察, 菅野一: 小規模水中コンクリートの工法。

5) 依頼原稿の件, 6) 討議依頼先について, 7) 40周年記念講演について, 8) 小委員会について, 9) 抄録委員追加について。

2. 抄録委員会(昭.29.6.9) 出席者: 森委員長, 樋口, 松本, 渡辺(隆), 平嶋, 中村各委員, 千秋幹事, 徳平編集幹事。議事: 1) 第39巻7号抄録として3篇を決定, 2) 録越21篇, 新規7篇につき協議, 3) 抄録委員会内規について, 4) 委員長交代の件について。

3. 第10回コンクリート鉄道構造物委員会(昭.29.6.3) 出席者: 吉田委員長, 沼田, 高橋, 丸安の各委員, 山内, 白石, 杉木, 浜, 横山, 町田, 深谷, 田村, 川口の各幹事, 議事: 第4章第23条~第5章第25条逐条審議, 同第11回委員会(昭.29.6.17) 出席者: 吉田委員長, 沼田, 高橋, 最上, 丸安, 友永の各委員, 山内, 白石, 三浦, 浜, 横山, 深谷, 田村, 川口の各幹事, 議事: 1) 25 条許容応力度の解説及び27 条を審議。

4. 第8回鋼鉄道橋設計示方書委員会(昭.29.6.4)

出席者：田中委員長，沼田，福田，平井，田原，友永，高坂（代白鳥），多田（代橋本）の各委員，西村，菊池，田島，大宮の各幹事及び池田，宮崎両連絡員，議事：1) 記録 No.8 について，2) 4 章部材及び桁の設計，5 章設計細目第 1 節通則について審議，同第 9 回委員会（昭.29.6.25）出席者：田中委員長，成瀬，平井，奥村，田原，友永，多田の各委員，西村，菊池，田島，大宮の各幹事，池田，宮崎の両連絡員，議事：1) 記録 No.9 について，2) 資料 No.38,39 及び 21 条の交番応力について，3) 5 章設計細目第 2 節連結及び添接～6 節飯桁 70 条補剛材まで審議。

5. 第 20 回プレストレスト コンクリート委員会（昭.29.6.4），出席者：吉田委員長，沼田，国分，岡本，内山，田原（代池田）伊東，川崎，猪股，渡辺（代木村），海上（代白木），村田，山崎，友永，樋口，深谷，田村，川口の各委員，議事：第 64, 65 条を審議，第 21 回同委員会（昭.29.6.17）出席者：吉田委員長，沼田，国分，内山，田原，川崎，片平（代宮崎），渡辺（代木村），海上（代白木），山崎，友永，三浦，深谷，小寺，田村，川口の各委員，議事：1) 原案の 66 条及び 58,61,67 条（幹事原案）について審議。

6. 土木工事写真委員会（昭.29.6.10）出席者：米田委員長，山本（代荒木），木村（代鷺沢，峰村），小池（代細田），山内（代広田），市浦，田中，坂本（代），高野（代神田），貝嶋（代佐藤），片平（代伊丹），五十嵐（代並木），田村（代高瀬），小野木（代），高坂（代浜），金谷（代），榎（代安藤），友永（代西村），林の各委員，小林，高橋，両幹事及び金星敷世話係，議事：各委員が持寄つた写真を一同供覧の上編集方針を協議，大体 400 枚程度におさえて次回までにスクラップブックに貼付して提出のこと。第 4 回同委員会（昭.29.6.24）出席者：米田委員長，山本（代寺田），木村（代鷺沢），小池（代中沢），山内（代大西），市浦，岩井（代大井上），坂本（代吉村），高野（代神田），貝嶋（代佐藤），片平（代伊丹），五十嵐（代並木），田村（代高瀬），金谷（代高橋），榎（代安藤），友永（代田島），林，塚野（代大沢），林（代瀬尾）の各委員，小林，高橋両幹事及び金星敷世話係，議事：1) 各部門持寄つた写真を供覧の結果，重複した面もあるから総数 600 枚を 400 枚程度に圧縮できる予想がついたので，5 名の小委員（山本，金谷，坂本，市浦，高野の各委員）で 7 月 1 日選択するから各部門とも ABC のランクをつけて 6 月 30 日までに学会に提出のこと，2) 分類は改めて工學上に分類し，土木発達史を写真で見るとの観点で編集すること。

7. 40 周年記念事業準備打合せ（昭.29.6.11）出席者：兼重，小林，五十嵐，最上，中路，坂本（代森），平嶋，片平の諸氏，議事：1) 記念行事委員会と同資金委員会とを別個のものとしこの席で行事委員会案を作成し，資金委員会は理事会で決定のこと，2) 行事委員会の構成を次のようにする。

	委 員	幹 事
a) 総務係	兼重信雄，小林平，平嶋政治	片平信貴，大塚勝英
b) 会場係	五十嵐醇三，浅野英	八木田功
c) 講演会係	最上武雄，星楚和	徳平淳
d) 見学会係	篠原清，後藤正司，山本三郎	三宅康夫，藤原孝
e) 経理係	飯田房太郎，中路誠三	藤原孝，荒木道雄
f) 渉外接待係	上野省二，立花文勝	田中倫治，今井勇，川勝四郎

3) 記念大会スケジュール原案を検討，4) 資金募集方法は資金委員会にゆづる，5) 祝賀会長として大先輩にお願いする，6) 予算について，同委員会第 1 回幹事会（昭.29.6.18）出席者：片平幹事長，大塚，八木田，徳平，藤原，田中，今井，川勝の各幹事，議事：1) 片平幹事長から経過説明，2) 委員幹事の分担は準備打合会で決定したとおりであるが全員企画に参画する，3) 資金委員会に出す原案の検討，4) 日時は 10 月下旬から 11 月 10 日前後とし会場を物色することとし，八木田幹事から共済会館に交渉すること，ECALE の鉄道会議と重複しないよう希望あり。

8. 40 周年記念事業資金委員会準備委員会（昭.29.6.22）出席者：菊池委員長，藤井，飯田，中路，種谷（代石上），野瀬（代），沢，榎，山形，上野の各委員，片平，藤原両幹事，議事：1) 菊池委員長の挨拶に次いで片平幹事記念事業実施要綱案を説明，2) 第 1, 2, 3 案を比較検討の結果第 2 案に広告及び出版物進呈等を考慮し，支出をできるだけ節約した案を樹て次回に検討のこと，3) 土木史は完成までに相当の日子を要するから調査費のみ若干計上してこの計画から除外すること，4) 前回募金実績を考慮すること，5) 委員会の構成は次回で検討のこと，同第 2 回準備委員会（昭.29.6.29）出席者：青木会長，菊池委員長，藤井，種谷，野瀬（代），沢，田中（代）の各委員，兼重総務部長，片平，大塚両幹事，議事：1) 依頼状，趣意書，記念事業実施要綱，予算，賛助会費募集要領等の各案を検討，各業種別割当を検討，2) 各業種別割当を検討，3) 各業種別団体の主脳者に会長両副会長が懇談することとし各委員が斡旋する，4) 資金委員会はこの準備委員会で構成のこと。

9. 第 4 回橋梁構造委員会（昭.29.6.23）出席者：平井，国分，川口，猪股，田原（代）の各委員，菊池幹事，建築学会より竹山氏，議事：プレストレスト コンクリート及び合成桁の研究会開催準備について，1) 昭.29.9.4 午前 10 時～午後 4 時，場所は建築学会会議室，原稿は 7 月 31 日までとし 400 字詰原稿用紙で 9 枚とする，前刷はガリ板とし図面，写真は凸版銅版とする。2) 研究発表候補者について協議，3) 研究会ポスターは竹山氏に依頼，3) 次回は原稿が集まつてから 8 月 5 日開催し，細部の打合せを行うこと。

10. 大正以降土木史委員会準備打合せ（昭.29.6.28）出席者：青木会長，鈴木委員長，木村（代谷口），山本，坂本，田村，高野（代神田），五十嵐，伊藤，寺

島, 武井, 中路(代田中), 榎, 高坂(代和仁), 市浦, 岡本, 星林, 丸安, 山田の各準備委員, 議事: 1) 土木史内容は 1912 年(大正元年)から 1939 年(昭和 14 年)までを目途とする, 2) 河川, 運河, 砂防に林野関係を含む塚野忠三君を委員に追加のこと, 3) 港湾, 航路標識に埋立及び流流関係を追加し, 委員は坂本委員から推薦のこと, 4) 開墾, 干拓, 土地改良, 灌漑排水をまとめて農業土木とする, 5) 都市計画には地方計画を含む, 6) 築城は明治工業史では軍事土木とし委員に安成季隆, 大森頼雄の 2 氏を加える, 7) 土木行政は明治工業史では主として内務省関係であるが今回は鉄道等全部まとめること, 8) 土木材料に奥村敏忠君を委員に追加のこと, 9) 学校及び学協会の発達史, 建設業史, 大陸関係土木史等を組入れること, 10) 各部門のページ数, 予算等の企画を立てるため企画委員として星林和, 中路誠三, 山田順治の 3 君に委嘱し近日中に成案を得た上次回委員会を開催すること。

◎その他

1. 日本気象学会理事長からピキニ水爆実験に対し声明して広く世界に訴えるから, その主旨に協力方要請があつた。
2. 建設次官から来る 7 月 10 日から 1 週間「国土建設週間」を実施し, 会長を顧問に委嘱するから協力方要請があつた(学会は学会誌 39 巻 6 号にその趣旨と企画の要点を登載することとした)。
3. 日本学術会議会長 茅渟司氏から原子力に関する声明(4 月 23 日総会決議)を周知方照会。
4. 第 4 回応用力学連合講演会に「日本火災学会(会長内田祥三氏)」が参加することになった旨, 同準備委

員会から通知があつた。

5. 特別員川崎鉄網KKでは創業満 45 周年記念として工事の設計または写真に対し懸賞募集(締切 8 月 31 日)を企てているから応募方照会があつた。

6. 水道協会では第 5 回上下水道研究発表会を 10 月中旬開催の予定(発表者は 8 月 15 日までに同協会に申し込むこと)。

支 部 だ よ り

1. 関西支部第 2 回役員会(昭.29.6.24)出席者: 近藤支部長, 高西, 福留, 林, 原口, 鈴木元支部長, 松尾, 後藤, 小林, 川口, 三宅(代), 樋渡, 天野, 森, 田中, 小松, 神田, 加藤(康), 久保, 畑中, 親谷各商議員, 柴橋幹事, 議事: 1) 昭和 29 年度事業計画(イ) 海岸工学研究会の開催, (ロ) 三重県海岸堤防, 有料道路及び宮川発電所ダムの見学, (ハ) 講習会の開催, (ニ) 工事研究会(プレストレスト コンクリート)を開催, (ホ) 通俗講演会を開催, (ヘ) 委員会の設置, (ト) 国鉄大戸川橋梁構築工事現場視察, 2) 関西支部内規の改正, 3) 幹事の改選について, 成岡昌夫君(留任), 安藤西良君(留任), 天野毅彦君(新任), 雨宮広二君(新任), 松下伸一君(新任), 報告: 土木学会創立 40 周年記念行事について近藤支部長から報告,

2. 西部支部第 5 回幹事会(昭.29.6.18)出席者: 田代幹事長, 武田, 下津, 乙藤, 古賀, 上田, 和田, 石川(代), 吉関(代), 天方(代)の各幹事ほか古江, 柳川両君, 議事: 1) 第 1 回研究発表会について(7 月 10 日(土)九大工学部で開催の予定) 2) 夏季講習会について, 3) その他

昭和 29 年 6 月分入退会報告 (29.6.1~6.30 現在)

1. 入 会 117 名(特 3 級 1, 正 25, 准 43, 学生 48)
2. 退 会 18 名(正 6, 准 10, 学生 2)
3. 転 格 37 名(准より正 36, 正より准 1)

会 員 現 在 数 (29.6.30 現在)

名譽員	賛助員	特別員 1 級	2 級	3 級	正 員	准 員	学生員	合 計	増加数
22	16	33	74	153	5 125	5 953	1 366	12 742	99

昭和 29 年 7 月 10 日 印刷	土木学会誌	定価 100 円
昭和 29 年 7 月 15 日 発行	第 39 巻 第 7 号	
編集兼発行者	東京都千代田区大手町 2 丁目 4 番地	中 川 一 美
印刷者	東京都港区赤坂溜池 5 番地	大 沼 正 吉
印刷所	東京都港区赤坂溜池 5 番地	株式会社 技 報 堂
東京中央郵便局区内	千代田区大手町 2 丁目 4 番地	電話和田倉 (20) 3945 番
発行所 社団法人	土 木 学 会	4078 番 振替東京 16828 番